

大学教育改善等委員会
平成18年 1月11日承認
平成20年 9月 8日改定
平成22年 3月10日改定
平成23年12月 7日改定
平成26年10月15日改定
グローバル教育支援機構 授業支援部門
平成29年10月31日改訂
平成30年2月8日改定

シラバスの作成要領

1. シラバスとは何か

(1) 学生に対する授業契約書

学生との契約事項になるとともに、国民への説明責任に応えることとなります。

(2) 学習の指針

シラバスは、学生が授業中や授業外で学習を行うための指針を示すものです。学生は、シラバスの項目に記載された情報に基づいて、予習・復習などを行います。

(3) 授業改善のための具体的材料

シラバスを作成する過程で、授業目標を考えたり、授業計画を具体的に構想したり、成績評価方法を具体的に検討したりすることを迫られます。この作業は自分の授業を見直すよい機会になります。

また、半期終了後に授業を総括し、一層の改善を図るための重要な契機になります。

(4) シラバス作成・公表

シラバスは前年度末までに作成・公表することが、大学・教員の義務です。

2. シラバスの書き方

(1) 授業内容と方法

- ・授業科目をめぐる問題状況、背景、授業内容の必要性などについて必要に応じて簡潔に触れます。
- ・授業内容を具体的に記述します。その際、全体が見えるように、いくつかまとめて包括的に記述します。
- ・学生が理解できるように、わかりやすい言葉で記述します。専門用語は多用しません。
- ・教員の視点から、〇〇について「概説する」、「解説する」、「説明する」等々を記述します。
- ・授業方法については、講義、ディスカッション、グループ調査・発表、ビデオ視聴など、この授業科目で行われる授業方法を記述します。

(2) 達成目標

- ・(1)の授業内容と同じ記述にせず、授業内容の学習達成事項を具体的に記述してください。
- ・学生の視点から、〇〇について「理解する」「説明できる」「論理的に述べることができる」「類別できる」「指摘できる」「関心を持つ」「主体的に考えることができる」など、行動目標を中心として記述します。

※達成目標と学習教育目標との関係

- ・共通教育等科目については、授業科目の達成目標と URGCC 学習教育目標との対応関係を記述します。
- ・専門教育科目については、各プログラムの方針に従い、授業科目の達成目標と学士教育プログラムの学習教育目標又は URGCC 学習教育目標との対応関係を記述してください。

(3) 評価基準と評価方法

- ・この項目は、達成目標と同じく、学生に対する契約、とりわけ単位認定・評価の最も重要な事項です。学生の成績への異議申し立てに対して、重要な説明根拠になります。
- ・達成目標の実現にとってこの評価基準と評価方法が妥当であると説明できなければなりません。
- ・達成目標欄に記された各目標と対応した評価基準を記述します。
- ・「総合的に評価する」という記述ではなく、試験、レポート、発表（プレゼンテーション）などの評価

割合を示します。

- ・試験、レポート、発表などについて学習者がイメージできるように、情報を具体的かつ明確に記述します。どのような試験を何回実施するか、レポートはどのような内容でどのくらいの分量を要求するのかなど、できるだけ詳しい情報を記述してください。

(4) 履修条件

- ・この授業科目を学習する上で、履修しておかなければならない、または履修しておくことが望ましい科目などがあれば、記述してください。

(5) 授業計画

- ・15回の授業それぞれについて、達成目標が実現できるように授業計画を記述します。
- ・定期試験については、15回の授業とは別に記述します。
- ・具体的かつ明確に記述します。

(6) 事前・事後学習

- ・授業外学習（事前学習・事後学習）の指示を記述します。
- ・事前学習と事後学習それぞれについて学習内容を記述してください。
- ・学習内容については、単位制度（1単位 = 授業15時間+事前・事後学習30時間）の主旨をご理解の上、記述してください。

(7) 教科書・参考書

- ・授業の準備や予習・復習に役立つようにするために、できるだけ記述してください。

(8) 備考（メッセージ）

- ・受講上の注意など、特に記述しておきたいことがあれば記述してください。

(9) オフィスアワー

- ・必ずオフィスアワーを記述してください（できるだけ曜日・時間帯・場所<研究室>など）。

(10) メールアドレス

- ・学生からの質問・連絡などで必要な場合があるので、メールアドレスを記述してください。

(11) URL

- ・関連ホームページのアドレスを記述します。

(12) チェックボックス

- ・アクティブ・ラーニングの実施状況やURGCC学習教育目標を正確に学生に伝えるために必要ですので、チェックを入れてください。